

# 大野城心のふるさと館年報

2022

—令和4年度—

—歴史と、まちと、人と、想いと—「つなぐ、つながる。」  
市民ミュージアム



**大野城心のふるさと館**

Onojo Cocoro-no-furusato-kan City Museum



# 大野城心のふるさと館年報

2022

—令和4年度—

# 目次

## はじめに

### 1 大野城心のふるさと館概要

- 1-1 施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 1-2 組織・職員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

### 2 展示

- 2-1 常設展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
- 2-2 ミニテーマ展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- 2-3 パネル展・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
- 2-4 大野城コレクション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
- 2-5 特別展・企画展・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

### 3 教育普及

- 3-1 学校連携事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
- 3-2 体験型事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
- 3-3 団体利用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
- 3-4 まち歩き事業・文化財公開事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
- 3-5 講座・講演会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
- 3-6 ふるさとラボ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
- 3-7 研修生等受入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21

### 4 催し・施設貸出など

- 4-1 にぎわいづくり事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
- 4-2 つながる事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
- 4-3 活用事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
- 4-4 施設貸出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
- 4-5 ここふるショップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
- 4-6 オリジナルグッズ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30

### 5 他機関との連携・交流

- 5-1 大韓民国国立公州大学校博物館学術文化交流協定・・・・・・・・・・31
- 5-2 視察等受入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31
- 5-3 九州大学連携協力推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32



## 6 市民・地域との連携

- 6-1 ふるサポの会 . . . . . 33
- 6-2 ここふる友の会 . . . . . 33
- 6-3 山城楽講 . . . . . 34
- 6-4 史跡環境整備サポーター事業 . . . . . 35

## 7 情報発信・広報

- 7-1 情報発信・広報ツールの活用 . . . . . 36
- 7-2 発行物 . . . . . 36

## 8 資料収集・調査・貸出

- 8-1 資料の収集 . . . . . 38
- 8-2 資料の調査 . . . . . 38
- 8-3 資料の貸出 . . . . . 38

## 9 文化財調査・整備

- 9-1 文化財の調査 . . . . . 40
- 9-2 文化財の整備 . . . . . 41

## 10 施設管理

- 10-1 I P M管理 . . . . . 42
- 10-2 危機管理 . . . . . 42

## 11 統計

- 11-1 施設利用状況 . . . . . 43
- 11-2 来館者アンケート . . . . . 44

# 1 大野城心のふるさと館概要

## 1-1 施設

- (1) 名 称 大野城心のふるさと館
- (2) 所在地 福岡県大野城市曙町3丁目8番3号
- (3) 設置目的 郷土の歴史、民俗等に関する資料の保存及び活用により、市民の郷土の歴史に対する理解を深め、歴史の継承を図るとともに、地域資源を活用した市民の交流促進及び地域の活性化に寄与するため。
- (4) 開館年月日 平成30(2018)年7月21日
- (5) 敷地面積 2,284.62㎡
- (6) 建 物 建築面積 1,333.20㎡ / 延床面積 3,417.15㎡  
鉄筋コンクリート造地下1階地上3階
- (7) 開館時間 9時～19時
- (8) 休 館 日 月曜日(月曜日が祝日の場合、翌平日)、12月28日から1月4日
- (9) 入 館 料 無料 ※特別展は有料
- (10) 案内図



西鉄
西鉄 福岡(天神)駅から急行約12分 ◎西鉄春日原駅より徒歩約12分
J R
J R 博多駅から快速約13分 ◎J R 大野城駅より コミュニティバスまどか 大城ルート乗車 「まどかびあ」下車すぐ
自動車
◎九州自動車道太宰府IC 大野城方面出口より約6分 ◎福岡都市高速大野城出入口から 大野城方面約10分 ※駐車場は市役所駐車場(無料)を利用

(11) フloor図

**3F 10 企画展示室**  
Special Exhibition Room  
当館や他館の資料を展示する特別展を行います。

**3F 11 ふるさとラボ**  
Local History Room  
目加田ライブラリーや郷土資料の閲覧など、より詳しい情報を調べることができます。

書庫 Book Repository  
ホワイエ Relaxation Lounge  
整理復元室 Restoration Room  
テラス Terrace

**3F 調 Shirabe-Ba**

**2F 7 牛頭須恵器ファクトリー**  
Ushikubi Sue Ware Hands-on Exhibition  
須恵器を焼く窯や工房を再現。牛頭須恵器窯跡の概要がわかる展示です。

**2F 8 水城・大野城シアター**  
Mizuki & Onojo Castle Ruins Theater  
シアター映像や復元模型へのプロジェクションマッピングで、水城・大野城ができた時代に迫ります。

**2F 9 ミニテーマ展示**  
Mini Exhibition  
郷土資料や特別展などの内容に合わせた展示を行います。

**2F 5 大野城タイムライン**  
Onojo Timeline  
旧石器時代から現代まで、大野城市の歴史がわかる展示です。

**2F 6 百間石垣ウォール・クライミング**  
Hyakken Stone Wall Ruins, Climbing Wall  
大野城跡の百間石垣の一部を再現。隣には高さ7mのクライミングコーナーがあります。(ご利用には初回登録と当日予約が必要です。)

一般収蔵庫 Storage Room  
大野城コレクション Onojo Collection  
常設展示1 Permanent Exhibition 1  
ハンズオンコーナー Hands-on Learning Room  
常設展示2 Permanent Exhibition 2  
講座学習室 Lecture Room

**M2F 2F 学 Manabi-Ba**

**1F 3 大野城ダイナビジョン**  
Onojo Dynavision  
大野城市の歴史や最新の観光情報をお知らせするほか、たのしいミニゲームもあります。

**1F 4 ここふるショップ&カフェ**  
Museum Shop and Café  
オリジナルグッズや地域の特産品、推奨品などを取り扱っています。カフェでは市内の団体や飲食店による日替わりランチを提供しています。

**1F 1 こども体験ギャラリー**  
Kids History Experience Room  
ボールプールやすべり台で来館児童が遊べるコーナーやおりがみ・昔遊びなどでみんなが遊べるコーナーがあります。(土日はワークショップも開催しています。)

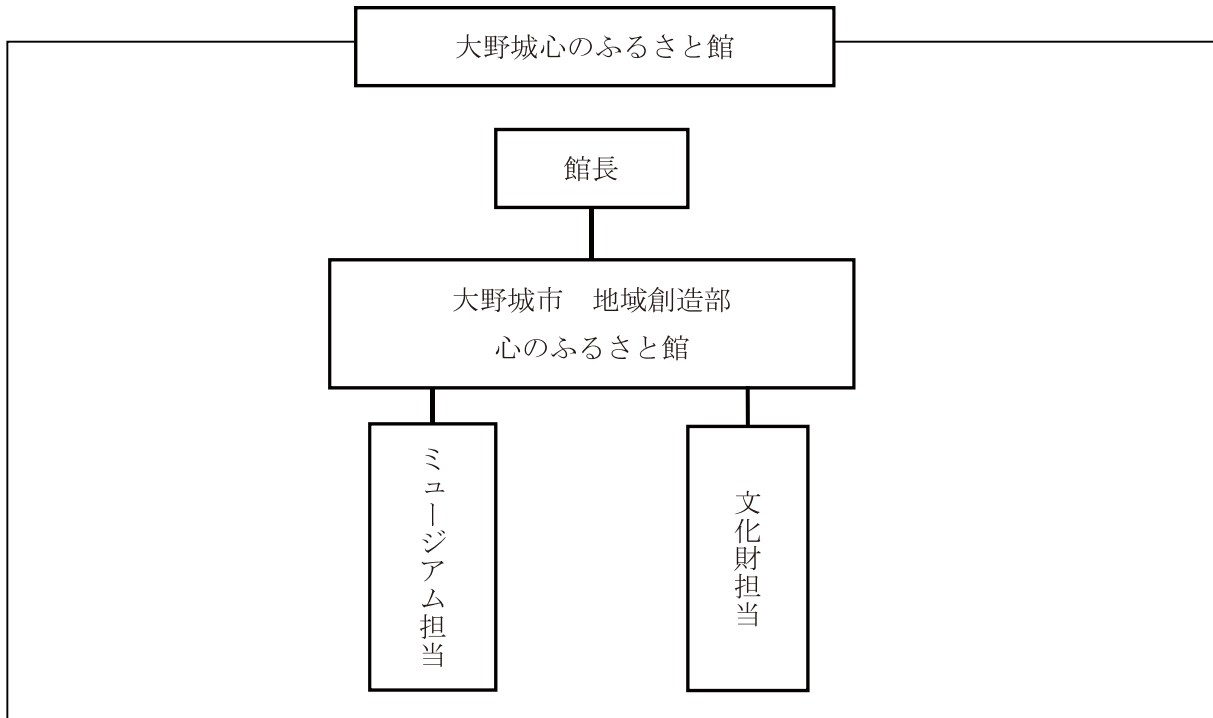
**1F 2 昭和の暮らしコーナー**  
Lifestyle Exhibition of the Showa Era  
市内の農家をモデルに、昭和20～40年代のなつかしの暮らしを再現。定期的に展示替えイベントも行っています。

出入口 Entrance  
ジョーホール Lobby・Joe Hall  
ラウンジ Relaxation Lounge

**1F 遊 Asobi-Ba**

## 1-2 組織・職員

### (1) 運営体制（組織図）



### (2) 令和4年度の職員

館長	赤司 善彦		
【ミュージアム担当】		【文化財担当】	
課長	山崎 克博	課長	石木 秀啓
参事補佐兼係長	早瀬 賢※	参事補佐兼係長	林 潤也※
参事補佐兼係長	島 朋宏	参事補佐兼係長	上田 龍児
主任主事	永利 舞	主査	徳本 洋一
主任技師	龍 友紀※	主任主事	秋穂 敏明
主任主事	花房 伸哉	主任技師	山元 瞭平※
主任主事	中藪 真子	技師	齋藤 明日香※
主事	塚本 莉帆	会計年度任用職員	清水 康彰
会計年度任用職員	武下 龍也	会計年度任用職員	大塚 健三
会計年度任用職員	松山 明子	会計年度任用職員	山村 智子※
会計年度任用職員	今村 杏奈※	会計年度任用職員	深町 美佳※
会計年度任用職員	武末 由美※	会計年度任用職員	照屋 真澄※
会計年度任用職員	舟山 良一※	会計年度任用職員	澤田 康夫
会計年度任用職員	白井 夕美子※	会計年度任用職員	石川 健
会計年度任用職員	大重 優花※		
会計年度任用職員	門井 慶介※		
会計年度任用職員	原口 香那		
会計年度任用職員	高橋 俊介		

※学芸員

## 2 展示

### 2-1 常設展示

#### 大野城タイムライン

旧石器時代から近現代までの市内の遺跡から出土した遺物や市民からの寄贈品を通史的にコンパクトに展示しており、タッチパネルにより各時代の詳細な解説をみることができる。令和4年度は8月と12月に展示替えを実施した。

《展示資料》貨布、三角縁神獣鏡、人面墨書土器、中国産白磁碗 など

#### 水城・大野城シアター

国の特別史跡である水城跡・大野城跡を模型や映像、プロジェクションマッピングを使ってわかりやすく紹介している。ペンライト型の照明で模型を照らすと水城跡・大野城跡の古代から中世、現代の発掘調査までの歴史のシーンを見ることができる。

《展示資料》水城・大野城全景模型、水城西門・太宰府口城門・増長天礎石群・百間石垣再現模型

#### 善一田古墳群と乙金地区遺跡群

市北東部の乙金地区の区画整理に伴い発見された善一田古墳群を中心とした乙金地区遺跡群から出土した資料を「モノづくり」と「交流」をキーワードに展示し、不定期に展示替えを行っている。

《展示資料》鉄刀、新羅土器 など

#### 牛頸須恵器ファクトリー

国史跡である牛頸須恵器窯跡の窯や工房を再現し、生産された須恵器などの資料を展示している。

《展示資料》牛頸須恵器窯跡出土須恵器、へら書き須恵器（福岡県指定文化財）

#### 収蔵展示

一般収蔵庫の壁面を利用して土器や石器、民具などを展示。設置されたLEDによりカラフルな照明演出をかけることができる。令和4年度は「食」をテーマに展示を行った。

#### 昭和のくらしコーナー

大野城市内の民家をモデルに昭和のくらしを復元。壁の変更、土間から板間への変更、小物の入れ替えなどにより、昭和20年代、30年代、40年代の3時代に展示替えが可能で、定期的に展示替えを行っている。来館者は家屋に入り、展示品に触れて学ぶことができる。

年 代	期 間
昭和20年代	令和4年 4月 1日（金）～6月12日（日）
昭和40年代	令和4年 6月15日（水）～12月11日（日）
昭和20年代	令和4年12月14日（水）～令和5年3月31日（金）

## 2-2 ミニテーマ展示

地域の歴史や身近な文化財への関心を深めること、郷土への愛着形成などを目的に、市に関連する展示や特別展の内容に合わせた展示などを行っている。

### 大野城市市制 50 周年記念 令和 3 年度新収蔵品展 ～時代をあらわす道具たち～

会 期 令和 4 年 2 月 1 日（火）～4 月 3 日（日）  
内 容 令和 2 年度に寄贈を受けた資料を紹介し、市民の宝としての周知を図るとともに、市内に眠っている貴重な資料の寄贈につなげることを目的とした。  
展示資料 布マスク（アベノマスク）、水枕、黒電話、自動車電話、2 眼カメラ、ポラロイドカメラ、教材用地図（アメリカ）、てみ、屠蘇器一式、もろ蓋、染色関連書籍 等

### 板付基地展 ～かつて、大野の町にアメリカがあった～

会 期 令和 4 年 9 月 13 日（火）～11 月 6 日（日）  
内 容 令和 4 年は板付基地春日原住宅地区（通称：白木原ベース）返還、そして大野城市市制施行から 50 年の節目にあたる。大野城市の文化財第 51・52 集を基に、板付基地や白木原ベース通り、米軍ハウスでアメリカ兵やその家族と交流があった 14 名の証言とゆかりの品々を展示するとともに、関連イベントで座談会やまち歩きを実施し、参加者からの新たな証言や資料の掘りおこしを図った。  
展示資料 板付基地および米軍ハウス関連資料 15 件 56 点、パネル等

#### 関連イベント

##### 座談会「板付基地の思い出を語る」

日 時 令和 4 年 10 月 8 日（土）14 時～16 時

会 場 講座学習室

参加者 25 名

取 材 NHK福岡放送局

##### まち歩き「板付基地の思い出をめぐる」

日 時 令和 4 年 10 月 16 日（日）13 時～16 時

場 所 大野城市内（麻生バイクショップ～白木原ベース通り～鉄条網・電柱～米軍ハウス等）

講 師 春日ベース・ハウスの会（大久保 聡氏）

参加者 20 名

取 材 共同通信社

## 青森県の縄文西日本プロモーション2022 北海道・北東北の縄文遺跡群

### 世界遺産登録1周年記念「特別史跡 三内丸山遺跡と青森の縄文」

会 期	令和4年11月3日（祝・木）～12月4日（日）
内 容	「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録1周年にあわせ、令和4年度青森県の縄文西日本プロモーションの一環として当館で開催されたもの。青森県には中核となる縄文時代の遺跡8ヶ所が所在しており、本展示では、特に特別史跡三内丸山遺跡及び青森県内の縄文遺跡の出土品を展示し、世界遺産としての価値や魅力をわかりやすく解説した。
展示資料	縄文土器（円筒下層式土器、円筒上層式土器、大木系土器、十腰内式土器等）、板状土偶、黒曜石製石器、石冠、石棒、ヒスイ製大珠など
観 覧 数	3,973名（1日平均：141.9名）
配 布 物	青森県及び縄文遺跡群世界遺産本部作成パンフレット類

#### 関連イベント

##### 世界遺産登録1周年記念 福岡フォーラム

日 時 令和4年11月3日（祝・木） 13時半～16時半

会 場 講座学習室

内 容 講演「縄文遺跡群の世界遺産登録の意義」鈴木 地平氏（文化庁文化財調査官）

「縄文時代の地域性」水ノ江 和同氏（同志社大学文学部教授）

「世界遺産登録の歩みと縄文遺跡群の未来」岡田 康博氏（三内丸山遺跡センター所長）  
館長及び講演登壇者との意見交換「遺産を未来へ伝えるために」

参加数 67名

#### 郷土史家 赤司岩雄展

会 期	令和4年11月22日（火）～12月11日（日）
内 容	市制50周年記念事業「私のふるさと展」に併せて実施。大野村から大野城市に至るまでのふるさとの変遷や、市内の地名の由来などを研究した赤司岩雄氏の功績などを展示。
展示資料	赤司岩雄先生遺品、大野城市のいしぶみ直筆原稿、直筆図版（大野城市内に於ける教育の歴史、御笠那珂堀川運河水路推定図、新川緑地工事陶板説明板校正文書、大野城市の小字地図等）26点

#### 目加田コレクション「富嶽三十六景」

会 期	1：令和4年12月13日（火）～令和5年1月22日（日） 2：令和5年1月24日（火）～2月26日（日）
内 容	著名な日本古典文学研究者であった目加田さくを氏が収集した複製浮世絵のうち葛飾北斎筆「富嶽三十六景」の一部を展示。
展示資料	悠々洞出版 葛飾北斎筆「富嶽三十六景」のうち、1は「山下白雨」「相州七里浜」など16点、2は「尾州不二見原」「甲州犬目峠」など16点

## 2-3 パネル展

### 我々はどこからきたのか ～はやぶさ2の帰還・小惑星リュウグウから迫る宇宙の謎～

- 会 期 前期：令和4年6月21日（火）～7月24日（日）  
後期：令和4年7月26日（火）～9月4日（日）
- 内 容 小惑星探査機「はやぶさ2」が6年かけて小惑星リュウグウから持ち帰った貴重なサンプルのレプリカとともに、世界初の技術にも挑んだ「はやぶさ2」の長い宇宙の旅を振り返る展示。前期はM2階大野城コレクション、後期は1階ジョーホールで開催。

### オリジナルグッズ展

- 会 期 令和4年9月6日（火）～10月10日（祝・月）
- 内 容 これまでに製作した館のミュージアムグッズを紹介する展示。

#### 関連イベント

##### オリジナルグッズフェア

- 開催日 令和4年9月10日（土）、24日（土）、25日（日）
- 内 容 大野城市市制50周年記念事業「まどかマルシェ」及びおおの山城大文字まつりの開催に合わせて、ミュージアムショップ「ここふるショップ」でオリジナルグッズ購入500円ごとにドリンク単品50円引き券がもらえる企画を実施。

### ちくし再発見～見てみんね。中世の筑紫～

- 会 期 令和4年11月4日（金）～11月20日（日）
- 内 容 筑紫地区の中世に関連した文化財を、「城」・「暮らし」・「祈り」の3つのカテゴリーに分けて紹介する展示。

### いわて復興のあゆみ展

- 会 期 令和5年3月7日（火）～3月19日（日）
- 内 容 東日本大震災津波で大きな被害を受けた岩手県沿岸部の被災地復興のあゆみを伝えるポスター展。岩手県が制作した復興関連ポスターを展示。

#### 関連イベント

##### 被災地応援フェア

- 開催日 令和5年3月7日（火）～3月19日（日）
- 内 容 ミュージアムショップ「ここふるショップ」で被災地応援商品を税込1,000円以上ご購入で、先着100名様に岩手県産米をプレゼントする企画を実施。

##### 語り部講話 後世へ語り継ぐ～東日本大震災津波～

- 開催日 令和5年3月19日（日）13時半～15時
- 内 容 岩手県で語り部として活動されている2人による講話を開催し、東日本震災の体験や教訓



を後世に伝える場とした。

- ・東北応援の旅を振り返る（市社会福祉協議会）
- ・「未来につなぐ～震災と復興の記憶～」  
元田 久美子氏（宮古観光文化交流協会「学ぶ防災」ガイド）
- ・「三陸鉄道の歩み・地域の足を守る為」  
赤沼 喜典氏（三陸鉄道㈱旅客営業部営業担当副部長兼宮古駅長）

## 2-4 大野城コレクション

可動式棚を利用して、作品や収集品等の展示を行っている。貸館として、一般利用者の利用も可能。

令和4年度の使用実績			
タイトル	会期	内容・展示資料	主催
大利に伝わる食 「鶏ぼっかけ」大作戦	3月31日(木) ～4月24日(日)	大利小学校5年生による鶏ぼっかけのチラシやポスター、グッズアイデアを紹介。	大利小学校 大野城市
レトロ絵葉書展 「西の都」の風景	4月29日(祝・金) ～6月19日(日)	明治時代後期から昭和初期の絵葉書を通じて、太宰府天満宮や水城跡などの「西の都」文化財を紹介。	大野城市
我々はどこからきたのか～「はやぶさ2」の帰還・小惑星リュウグウから迫る宇宙の謎～	6月21日(火) ～7月24日(日)	「はやぶさ2」が持ち帰った小惑星リュウグウのサンプルのレプリカ展示や世界初の技術に挑んだ「はやぶさ2」の長い宇宙の旅を紹介。	大野城市
板付基地展 ～かつて、大野の町にアメリカがあった～	9月13日(火) ～11月6日(日)	新聞記事や写真を通じて、かつて、大野の町にアメリカ(=板付基地)があったことを紹介。	大野城市
市制50周年記念 私のふるさと展	11月21日(月) ～12月11日(日)	50年後の大野城市未来予想図の入選作品の展示。	大野城市
ふるさとじまん発見！	令和5年1月5日(木) ～1月25日(水)	大利小学校4年生による伝統工芸の発表。	大利小学校
新！まどかの宝さがし	令和5年1月28日(土) ～2月12日(日)	市特産品・推奨品のPR展示。	大野城市
CGC～ここふるガールズコレクション～	令和5年2月21日(木) ～4月2日(日)	ひな祭りの人形飾りの定番のお雛様のほか、全国の郷土玩具から伝説のお姫様や女の子を紹介。	大野城市

## 2-5 特別展・企画展

令和4年度開催の特別展・企画展

特別展・企画展名	会期
大野城市市制 50 周年記念特別展 「日本遺産 古代日本の「西の都」 ―活かす地域の宝―」	4/29～6/19
大野城市市制 50 周年記念特別展／九州大学総合研究博物館【第 22 回公開展示】 「九大のお宝み～つけた！「知」のワンダーランドへようこそ」	7/16～9/4
大野城市市制 50 周年記念特別展 「よみがえる黄金の宝 国宝 宮地嶽古墳出土宝物の世界」	10/22～12/18
大野城市市制 50 周年記念企画展「発掘された大野城市の遺跡展」	1/13～3/24

### 大野城市市制 50 周年記念特別展

#### 「日本遺産 古代日本の「西の都」 ―活かす地域の宝―」

会 期 令和4年4月29日(祝・金)～6月19日(日) (45日間)

内 容 本市史跡を含む日本遺産「古代日本の「西の都」」をはじめとした西日本各地の日本遺産について紹介した。各地の文化遺産や民俗芸能、特産品など、それぞれのストーリーと構成遺産について伝え、実際に行ってみたくなるようなふるさとの魅力の発信に努めた。また「西の都」を巡るバスツアーやスタンプラリーなど、実際に遺跡に出向く機会も設けた。

展 示 品 西都原古墳出土遺物、新田原古墳出土埴輪、能島村上水軍関係資料、因島村上水軍関係資料、忍具関連資料、忍術関係文書資料、伊万里焼大皿・壺、保命酒関連資料、古代日佐波理(大宰府政庁出土)、唾壺・白玉帯丸鞆(大宰府条坊出土)、へら書き須恵器(牛頸須恵器窯跡出土)、善一田古墳出土遺物、「天神縁起画伝」(太宰府天満宮関連資料)ほか

観 覧 料 一般 300 円 (友の会又は団体 250 円)、高校生以下無料

観 覧 数 2,588 名 (1 日平均 : 57.5 名)

図 録 21cm×21cm／本文 18 ページ／200 円／編集・発行 : 大野城心のふるさと館



#### 関連イベント

内覧会(新型コロナウイルス感染症の影響のためプレス向けに限定して実施)

日 時 令和4年4月28日(木) 9時半～11時 / 参加数 6社9名

### 関係者等向け解説会

日 時 令和4年4月28日(木) 13時～13時40分、14時～14時40分  
参加数 5名

### 友の会会員向けギャラリートーク

日 時 令和4年4月30日(土)、5月5日(木・祝)、5月13日(金) 各日10時～10時40分  
参加数 42名

### 手回しろくろ体験

日 時 令和4年5月22日(日) 10時半～12時、14時～15時半 / 会 場 講座学習室  
講 師 後藤 和正氏(陶芸教室やわら木 代表) / 参加数 17名

### 日本遺産「古代日本の『西の都』」関連史跡めぐり

日 時 A【太宰府市コース】 令和4年5月7日(土) 13時～16時半  
B【春日市・那珂川市コース】 令和4年5月29日(日) 13時～16時半  
C【筑紫野市・基山町コース】 令和4年6月11日(土) 13時～17時  
D【宇美町・大野城市コース】 令和4年6月12日(日) 13時～16時半

内 容 地域別に日本遺産「古代日本の『西の都』」構成文化財を巡るバスツアー。

講 師 A 古都大宰府保存協会  
B 春日市教育委員会文化財課係長 森井 千賀子氏  
那珂川市社会教育課係長 岩満 聡氏  
C 基山町教育委員会教育学習課ふるさと歴史係係長 松尾 法博氏、基肆かたろう会  
筑紫野市歴史博物館 早瀬 遼子氏・高巢 裕太氏  
D 大野城心のふるさと館係長 上田 龍児・主任技師 龍 友紀  
宇美町社会教育課係長 松尾 尚哉氏

参加数 54名(A15名 B14名 C13名 D12名)

### 特別展スタンプラリー

期 間 令和4年4月29日(祝・金)～6月19日(日)

内 容 館内を巡って、日本遺産「古代日本の『西の都』」のロゴマーク6つを集めるスタンプラリー。

参加数 647名

## 大野城市市制 50 年記念特別展／九州大学総合研究博物館【第 22 回公開展示】

### 「九大のお宝み～つけた! 「知」のワンダーランドへようこそ」

会 期 令和 4 年 7 月 16 日 (土) ～ 9 月 4 日 (日) (44 日間)

内 容 国内でも最大級となる約 750 万点の貴重な博物標本・資料を収蔵する九州大学総合研究博物館の中から選りすぐりのコレクションを紹介し、自然界の不思議と地球の歴史を学ぶ展示。

展 示 品 大型アンモナイト (化石)、樹根形石炭、ヒクイドリ (骨格標本)、ライオン (骨格標本)、テン (はく製) ノウサギ (はく製)、ニッポニテス未定種 (化石)、オキナエビス (貝類)、コシダカオキナエビス (貝類)、佐渡金山鉍石 (鉍山関連資料)、金銀山敷岡稼方図 (レプリカ) (鉍山関連資料)、孔雀石 (鉍物)、大型石英 (鉍物)、オオルリアゲハ (昆虫) キバネツマルリタマムシ (昆虫)、ポナペア (植物)、材鑑 (輪切り・板状) (植物)、両袖教授机 (什器)、考古学教室書棚 (什器) ほか

観 覧 料 一般 400 円 (友の会 350 円、団体 350 円)、高校生以下 100 円 (友の会又は団体 50 円)

観 覧 数 4,998 名 (1 日平均: 113.6 名)

図 録 29.7cm×21cm／本文 56 ページ／500 円／編集・発行: 大野城心のふるさと館



#### 関連イベント

##### 内覧会

開催日 令和 4 年 7 月 19 日 (火、休館日) / 参加数 47 名

##### 化石から分かる昆虫の歴史

日 時 令和 4 年 7 月 16 日 (土) 10 時～11 時半 / 会 場 講座学習室

内 容 昆虫の化石について講話を行い、本物の化石を触ったり、観察してスケッチする。

講 師 九州大学総合研究博物館専門研究員 大山 望氏 / 参加数 16 名

##### 歴史的什器リペアワークショップ

日 時 令和 4 年 7 月 17 日 (日)、18 日 (祝・月) 10 時～11 時 / 会 場 搬入室

講 師 九州大学総合研究博物館教授 三島 美佐子氏 / 参加数 7 名

##### 動物骨をスケッチしよう!

日 時 令和 4 年 8 月 4 日 (木)、5 日 (金) 10 時～11 時 / 会 場 特別展会場

講 師 九州大学大学院生 津守 怜氏

参加数 8 名

## トークショー&こども相談

日 時 令和4年7月30日(土)、31日(日)、8月6日(土)、21日(日)、30日(火)  
各日トークショーは13時～14時、こども相談は14時半～15時

※一部新型コロナウイルス拡大防止に伴い日程を延期して実施

講 師 九州大学総合研究博物館 教 授 前田 晴良氏(古生物学・化石)  
九州大学総合研究博物館 准教授 伊藤 泰弘氏(古生物学・貝類)  
九州大学総合研究博物館 准教授 中西 哲也氏(鉱物・鉱山技術)  
九州大学総合研究博物館 准教授 丸山 宗利氏(昆虫学)  
九州大学総合研究博物館 助 教 米元 史織氏(人類学・骨格)

参加数 【トークショー】のべ95名、【こども相談】のべ18名

## ヘラクレスオオカブトペーパークラフト

会期中、観覧者全員(希望者)に九州大学総合研究博物館丸山准教授監修のペーパークラフトを配布。

配布数 3,763枚

## 大野城市市制50周年記念特別展

### 「よみがえる黄金の宝 国宝 宮地嶽古墳出土宝物の世界」

会 期 令和4年10月22日(土)～12月18日(日)(50日間)  
内 容 宮地嶽神社境内に作られた宮地嶽古墳出土の金銅製の馬具、大型の金銅装大刀などの一括して国宝に指定されている黄金に輝く絢爛豪華な宮地嶽古墳出土品が一堂に会し、周辺古墳出土品、正倉院宝物再現模造品と併せて古代の美と技を楽しむ機会とした。

展 示 品 国宝 宮地嶽古墳出土馬具・武具類、金銅装大型頭椎大刀(復元品)、船原古墳出土馬具(復元品)、正倉院宝物(再現模造品)ほか

観 覧 料 一般 300円(友の会又は団体250円)、  
高校生以下無料

観 覧 数 2,806名(1日平均:56.1名)

図 録 29.7cm×21cm/本文71ページ700円

編集・発行:大野城心のふるさと館



## 関連イベント

### 内覧会

日 時 令和4年10月21日(金)10時半～12時 / 参加数 82名

### 特別展関連講演会

日 時 令和4年10月23日(日)13時半～14時15分 / 会 場 大野城まどかびあ 多目的ホール

内 容 講演1「正倉院宝物の魅力」 奈良国立博物館館長 井上 洋一氏  
講演2「地下の正倉院宮地嶽古墳宝物」 宮地嶽神社宮司 浄見 譲氏

参加数 124名

### 黄金の宝バスツアー「宮地嶽神社と津屋崎古墳群をめぐる」

日 時 令和4年11月20日(日)9時～14時半

内 容 世界遺産「新原・奴山古墳群」、宮地嶽神社、宮地嶽古墳群などをめぐるバスツアー。

参加数 20組(40名)

### 金エワークショップ 真鍮ボタンとアクセサリー

日 時 令和4年12月4日(日)9時半～12時、13時～15時半 / 会 場 講座学習室

講 師 彫金作家・ギャラリー「木蓮」店主 とよだ ようこ氏 / 参加数 20名

### 愛馬シールキット

会期中、観覧者全員(希望者)に愛馬シールキットを配布。

配布数 2,113枚

## 大野城市市制50周年記念企画展「発掘された大野城市の遺跡展」

会 期 令和5年1月13日(金)～3月24日(金)(61日間)

内 容 「時代はかわる」をテーマに、令和2・3年度に報告書が刊行された遺跡に関わる出土資料を中心に過去に出土した資料を共に展示し、大野城市の歴史や文化財を広く市民に紹介した。

展 示 品 瑞穂遺跡出土遺物、牛頸須恵器窯跡出土遺物、上園遺跡出土遺物、松葉園遺跡出土遺物、古野遺跡出土遺物、仲島本間尺遺跡出土遺物、川原遺跡出土遺物、雑餉隈遺跡出土遺物、御供田遺跡出土遺物

観 覧 料 無料

観 覧 数 5,931名(1日平均:97.2名)

配布資料 『大野城市の文化財』53集/A4版/本文16ページ/  
編集・発行:大野城心のふるさと館



### 関連イベント

はっけん!たんけん!いせきてん!

期 間 令和5年1月13日(金)～3月24日(金)

内 容 小学生以下を対象に、実際の展示物とシートの写真を結びつけるクイズを実施。挑戦者にはガラポンで景品をプレゼントした。

参加数 1,048名

#### ギャラリートーク

日 時 令和5年1月22日(日)、2月19日(日) 各日10時～

参加数 49名

### 3 教育普及

#### 3-1 学校連携事業

ふるさとの歴史をはじめとする地域資源、環境に興味・関心を深め、主体的な活動を促すという学習指導要領のねらいを踏まえ、総合学習や社会科を中心に、館の展示・収蔵品などの資源、体験型事業を活かした学習プランや学習教材を提供し、市内小中学校の教育活動をサポートしている。

令和4年度実績 市内小学校 10校、市内中学校 2校

	学校名	単元	学年
1	大野小学校	私たちの大野城市【社会科】／昔の道具【社会科】	3
2		山城のすばらしさをPRしよう【総合】	6
3		大野城市の発展につくした人【社会科】	4
4	大野北小学校	大昔の暮らしと国の統一【社会科】	6
		山城のすばらしさをPRしよう【総合】	
5		大野城市の発展につくした人【社会科】	4
6		昔の道具【社会科】	3
7	大野南小学校	大野城市の発展につくした人【社会科】	4
8		昔の道具【社会科】	3
9	大野東小学校	大野城市の発展につくした人【社会科】	4
10		私たちの大野城市【社会科】	3
11	大利小学校	山城のすばらしさをPRしよう【総合】	6
12		昔の道具【社会科】	3
13	平野小学校	大昔の暮らしと国の統一【社会科】	6
14		大野城市の発展につくした人【社会科】	4
15		昔の道具【社会科】	3
16	大城小学校	大野城市の発展につくした人【社会科】	4
17		昔の道具【社会科】	3
18	下大利小学校	大昔の暮らしと国の統一【社会科】	6
19		大野城市の発展につくした人【社会科】	4
20		昔の道具【社会科】	3
21	御笠の森小学校	昔の道具【社会科】	3
22	月の浦小学校	山城のすばらしさをPRしよう【総合】	6
23		大野城市の発展につくした人【社会科】	4
24		昔の道具【社会科】	3
25	大野東中学校	地域の歴史を探る	2
26	御陵中学校	地域の歴史を探る	1

※一部複数回実施の単元あり。



## 3-2 体験型事業

### ここふるAR

利用者のスマートフォンやタブレット端末へのARアプリの無料ダウンロード及び館内でのタブレット端末の貸出により、ARシステムによる解説の常時実施や館内周遊イベントなどに使用している。

※ タブレット端末の貸出は1回2時間以内。

令和4年度貸出実績	のべ421台（使用人数：のべ893名）
-----------	---------------------



(ARなし) (ARあり)  
 ≪1階ダイナビジョン前≫

### 百間石垣ウォール・クライミング

大野城跡の百間石垣の一部を壁面に再現し、約7メートルの石垣の高さを体感できるウォール・クライミングを設置し、土日祝日には小学生以上を対象としたクライミング体験を実施している。

- ・令和4年度クライミング開催回数 163回
- ・参加者総数：3,082名
- ・令和4年度新規登録者数 637名



運用区分	開催回数	参加人数
通常運用	113	2,742
大人限定運用	22	46
未就学児運用	12	85
春休みクライミング特別運用	2	31
夏休みクライミング特別運用	7	128
夏休みクライミング通常運用延長	2	7
冬休みクライミング特別運用	2	19
未就学児特別運用	1	13
博物館実習生クライミング体験	1	4
団体利用	1	7
合計	163	3,082

※通常運用：小学生以上、大人限定運用：満16歳以上、  
 未就学児運用：次年度小学校入学予定の未就学児

### 子ども考古学教室

夏休み期間中に、小学4年生～中学2年生を対象とした考古学や文化財への理解と関心を深めるための体験型学習「子ども考古学教室」を実施している。

開催日	内容	参加人数
8月3日(水)	・考古学のお仕事 ①学習 ②分類・編年 ・考古学のお仕事体験 ①拓本 ②接合	12名（内訳小学校4年生6名、小学校5年生1名、小学校6年生2名、中学校1年生1名、中学校2年生2名）

## ここふるワークショップ

未就学児から高齢者まで様々な年齢層が自由に参加して楽しめる参加費無料のワークショップを実施。季節や行事など身近なものを題材として、折り紙など簡単な材料を使った工作を主に行っている。

- ・開催日時：毎月第1～3週の土日 10時～16時（受付は15時半まで、材料がなくなり次第終了）
- ・対象：どなたでも、小学3年生以下は保護者の同伴が必要
- ・開催日総数：71日間 ・参加者総数：3,313名 ・実施場所：こども体験ギャラリー

月	内容	参加数	月	内容	参加数
4月	こいのぼりを作ろう！	188名	10月	ぴよんぴよんガエルを作ろう！	184名
5月	紋切り遊びをしよう！	213名	11月	どんぐりリースを作ろう！	148名
				はがきで凧を作ろう！	147名
6月	七夕かざりを作ろう！	282名	12月	クリスマスカードを作ろう！	288名
7月	かざぐるまを作ろう！	353名	1月	節分を作ろう！	292名
8月	風鈴を作ろう！	324名	2月	ひな人形を作ろう！	296名
9月	お月見のウサギを作ろう！	309名	3月	古代の模様をスタンプでしよう！	289名

## ここふる体験工房

地域の歴史や文化に親しみを持ち、展示から得られた理解をより身近に感じてもらうため、幼児から大人まで幅広い年齢を対象に、歴史や文化の要素を取り入れた有料の体験工房を実施している。

- ・開催日時：毎月第4土日 13時～15時 ・実施総数：12回（24日） ・参加者総数：225名

月	内容	参加数	月	内容	参加数
4月	勾玉ネックレス作り	14名	10月	秋の和菓子作り	24名
5月	水引アクセサリー作り	16名	11月	藍染め体験	16名
6月	土器はにわ作り	20名	12月	押し花祝い箸袋作り	13名
7月	折り染めうちわ作り	23名	1月	昔のお金貨布作り	20名
8月	宝石石けん作り	19名	2月	和綴じメモ帳作り	20名
9月	紙漉き体験	20名	3月	古代マグネット作り	20名

## 3-3 団体利用

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため5名以上の団体を対象に変更して、館内や学校、公民館等の館外で利用できる様々な講座や史跡案内を実施した。職員及びふるサポの会サポーターによる館内見学や歴史体験講座を館内で行うほか、歴史体験講座などの一部は、館内だけでなく学校の授業や公民館での講演会でも実施可能としている。

また、利用者が当館で得た知識と情報を基に歴史やまちの魅力を体験できるよう、館内の学びのほかに、実際の史跡散策など、当館と史跡、大野城トレイルとの連携を図るプログラムを展開している。

- ・利用団体総数：20団体 ・利用者総数：709名

### 館内学習・体験

講座名	内容	利用実績
心のふるさと館見学	各展示をガイド付きで見学	1 団体（28 名）
百間石垣ウォール・クライミング	ウォール・クライミングを体験	1 団体（7 名）
古代マグネット作り	樹脂を用いて埴輪・勾玉などのマグネットを作る体験	1 団体（43 名）

### 歴史体験講座

講座名	内容	利用実績
昔遊びをしよう	けん玉やめんこ、こまなどの昔遊び	6 団体（238 名）

### 史跡散策

講座名	内容	利用実績
館外ガイド	水城跡・大野城跡や善一田古墳公園等、現地をガイド付きで見学	9 団体（167 名）

### 出張講座

講座名	内容	利用実績
大野城市今昔物語	市内の歴史や発掘調査の成果についての講座	2 団体（226 名）

## 3-4 まち歩き事業・文化財公開事業

遺跡などへの理解を深めるため、ガイド付きで実際に史跡めぐりを行うまち歩き事業や文化財の公開事業を実施している。

タイトル	開催日時	内容	参加人数
瑞穂遺跡発掘調査 現地説明会	5月8日（日） 10時～12時	弥生時代の甕棺墓が発見された調査現場を公開・解説。	111名
大野ジョー ふるさとめぐり	5月8日（日） 15日（日） 13時～17時	小学生とその保護者を対象として、大野城跡・水城跡・下大利駅新駅舎を巡るバスハイク。	30名
梅頭窯跡公開事業	10月1日（土） 10時～12時	牛頸須恵器窯跡の概要及び梅頭窯跡について解説。日本遺産関連事業の一環として実施。	31名
御笠の森と 日田街道をたずねる	10月15日（土） 10時～12時	御笠の森と日田街道に関する周辺の文化財をめぐりながら解説。日本遺産関連事業の一環として実施。	18名

タイトル	開催日時	内容	参加人数
大野城をあるく	10月29日(土) 13時～17時	大野城市の市名の由来となっている大野城跡をめぐりながら解説。日本遺産関連事業の一環として実施。	8名
水城をあるく	11月5日(土) 13時～17時	国指定特別史跡「水城跡」をぐるっとめぐりながら解説。日本遺産関連事業の一環として実施。	18名
善一田古墳石室 公開事業	11月19日(土) 10時～12時	善一田古墳群の概要の説明と18号墳石室内などの見学。来場者にはクイズラリー用紙を配布し、参加者に九州古墳カードを贈呈。日本遺産関連事業の一環として実施。	63名
水城跡 KIKORI 体験会	2月25日(土) 13時～15時	小径木の伐採、丸太切り、土塁ロープクライミング等の体験会を実施。	67名
水城跡発掘調査 現地説明会	3月11日(土) 13時～15時	水城跡木樋推定地で行われた発掘調査成果を公開・解説	133名
ぐるっと 日本遺産を巡る	3月18日(土) 13時～17時	水城跡、大野城跡、善一田古墳群などをめぐるバスツアー。古代山城関連事業・日本遺産関連事業の一環として実施。	19名
・事業実施総数：11回      ・参加者総数：498名			

### 3-5 講座・講演会

令和4年度に実施した講座・講演会は以下のとおり。 ※会場は講座学習室(文化財講演会を除く)。

#### 館長講座

演題	講師	開催日	参加人数
水中遺跡を保護する (全6回)	館長 赤司 善彦	5月21日(土)	55名
		7月16日(土)	53名
		9月17日(土)	44名
		11月12日(土)	41名
		1月14日(土)	41名
		3月18日(土)	39名
・参加者総数：273名			

※開催時間は各回14時～16時

## 考古学講座

演題	講師	開催日	参加人数
西の守り 「雷山神籠石と怡土城」	糸島市文化課 平尾 和久氏	9月10日(土)	51名
外交の最前線「鴻臚館」跡	福岡市埋蔵文化財課 菅波 正人氏	11月23日(祝・水)	35名
老司瓦窯跡の発掘調査と 観世音寺	福岡市埋蔵文化財センター 榎本 義嗣氏	12月3日(土)	38名
糟屋の長官・春米連廣國と 「阿恵官衙遺跡」	粕屋町教育委員会社会教育課 西垣 彰博氏	1月22日(日)	44名
筑後の拠点「上岩田遺跡」と「小 郡官衙遺跡」	小郡市教育委員会文化財課 山崎 頼人氏	2月19日(日)	46名
・参加者総数：214名			

※開催時間は各日 14時～16時

## 古文書入門講座

演題	講師	開催期間	参加人数
高原文書『諸記録書上帳』(全18回)	長崎大学名誉教授 柴多 一雄氏	5月26日(木) ～2月9日(木)	19名

※開催時間は各回 18時～20時

## 文化財講演会 (会場：まどかぴあ 多目的ホール)

演題	講師	開催日時	参加人数
国づくりを支えた人々 －牛頸須恵器窯跡と乙金地区遺跡群から 探る「西の都」成立前夜－	京都府立大学 菱田 哲郎氏	5月14日(土) 14時～16時45分	101名

## 古典文学講演会

大野城市市制50周年事業記念事業の一環として実施。

演題	講師	開催日時	参加人数
博多の津と中国文化 －金印から最後の遣唐使まで－	九州大学文学部教授 静永 健氏	9月22日(木) 14時～16時	63名
帰郷と客死 －杜甫の最後の三峡下り－	九州大学名誉教授 竹村 則行氏	10月29日(土) 14時～16時	54名
うたことばをたどる －色に出でにけり－	福岡女子大学名誉教授 月野 文子氏	11月15日(火) 14時～16時	43名
北京の古書店について	九州大学大学院専門研究員 稲森 雅子氏	12月2日(金) 10時～12時	35名

### 3-6 ふるさとラボ

大野城市在住だった目加田誠・さくを氏夫妻から寄贈された蔵書類、並びに市の文化財に関する図書等を利用者が自由に閲覧できる開架図書としている（貸出不可、複写可）。壁面には目加田誠・さくを氏夫妻とその著作物の紹介、大野城市にゆかりの深い人物4名（米改良に取り組んだ末永仁氏、牛頸用水路に私財を投じた森山庄太氏、伊能忠敬氏（1812年に測量隊員が大野城市内を測量）、証券会社を設立して地元や市に多大な寄付を行った石井久氏）の解説パネルを設置している。



目加田さくを氏の解説パネルそばの展示ケースには、さくを氏が所蔵していた浮世絵の複製のうち、歌川広重の「東海道五十三次」を月に2回換えながら順次展示。また、目加田夫妻の業績をわかりやすく解説したパネルを2ヵ月に1回のペースで変更しながら掲示した。

令和4年度入室者総数	16,585名
------------	---------

### 3-7 研修生等受入

#### 学芸員課程博物館実習

学芸員課程を履修している学生を対象に、博物館の実習受入を行っている。座学、資料の取り扱い実習、実習成果を「心のふるさと館のおすすめの一品」として、2～3名一組となり資料の展示計画及びキャプションの作成を行った。

令和4年度実施期間	学校名	参加数
8月1日（月）～8月9日（火） ※8月7日（日）は休日	筑紫女学園大学	2名
	九州産業大学	1名
	福岡大学	2名

#### 職場体験

市内中学校の生徒を対象に、ワークショップ準備、警備業務、総合受付業務、団体対応業務、ここふるショップ業務などの職場体験を行った。

令和4年度実施期間	学校名	参加数
6月22日（水）～6月23日（木）	大野東中学校	4名

#### インターンシップ

（一社）九州インターンシップ推進協議会に参画し、大学生を対象に、ワークショップ・特別展関連イベントの補助、ここふるショップや総合案内などの体験によるインターンシップを実施している。

令和4年度実施期間	学校名	参加数
8月18日（木）～8月30日（火）	九州産業大学 福岡工業大学	各1名

※課題：『大野城市』にちなんだ館のミュージアムグッズを考えてみよう」

## 4 催し・施設貸出など

### 4-1 にぎわいづくり事業

まちの宝である地域で活躍する人など、市の魅力発信とまちのにぎわい創出を目的に、市内の団体や民間事業者等、多様な主体と連携した当館主催のイベントを行っている。

・令和4年度実施イベント総数 13

#### ここふるハイハイレース

開催日 令和4年4月14日(木)・15日(金)、9月22日(木)・23日(祝・金)、  
12月23日(金)・24日(土)

内容 ハイハイできる未歩行の赤ちゃんとその保護者を対象としたレースを実施。参加者には参加賞として景品をプレゼントした。

参加数 215名

#### ここふるゴールデンウィーク2022「大野城心のふるさと館でしりとりで挑戦！」

開催日 令和4年4月29日(祝・金)～5月8日(日)

内容 館内にあるパネルの写真をもとに、解答用紙の「しりとり」を完成させる企画。しりとりを完成させた方には景品をプレゼントした。

参加数 400名、SNSフォロー企画 71名

#### ここふる夏休み2022「お宝を集めて、キラキラのネックレスを完成させよう！」

開催日 令和4年7月21日(木)～8月31日(水)

内容 館内を回って見つけたシールを台紙に貼り、ネックレスを完成させる企画。青のお宝を見つけ出す前期(7月21日(木)～8月7日(日))と、赤のお宝を見つけ出す後期(8月9日(火)～8月31日(水))で、それぞれ完成させた方には景品をプレゼントした。

参加数 3,674名、SNSフォロー企画 470名

#### 大野城まどかぴあ&心のふるさと館バックヤード探検隊 「プロフェッサーまどかのミッシングストーン」

開催日 令和4年7月31日(日)

内容 大野城まどかぴあとの連携企画。両館のバックヤードを探検しながら謎を解き、ミッシングストーンを探すイベントを実施。探検後には発掘体験も行った。

参加数 35名(保護者含む)

#### おおの山城大文字まつりコラボイベント「わなげ・射的に挑戦！」

開催日 令和4年9月24日(土)・25日(日)

内容 参加券1枚で、わなげ・射的のどちらかに1回挑戦できる縁日イベントを実施。参加券入



手方法は以下のとおり。

- ① 1階ジョーホールで開催していた「オリジナルグッズ展」に設置されたクイズを解き、解答用紙を総合案内に提出。
  - ② ここふる友の会会員カードを1階総合案内に提示。
  - ③ 心のふるさと館のアカウントフォロー画面を1階総合案内に提示。
  - ④ 1階ここふるショップで、会計500円ごとの利用。
- 注) ①～③は1人につき1日1枚のみの配布。

参加数 1,497名(射的:787名、わなげ:710名)

### ここふるハロウィン2022「ハッピーハロウィン☆数当てクイズに挑戦！」

開催日 令和4年10月22日(土)～10月30日(日)

内容 館内に隠れたカボチャやオバケを探し出し、タブレットをかざして浮かび上がるイラストの中から、解答用紙と同じイラストの数を当てる企画を実施。正解者には景品をプレゼントした。

参加数 317名、SNSフォロー企画109名

### 大野城ウィンターイルミネーション2022

開催日 令和4年11月19日(土)～12月25日(日)

内容 まどかぴあ南側広場でのイルミネーション点灯を中心とした、当館と大野城まどかぴあ、大野城市社会福祉協議会との連携イベント。3年ぶりに点灯式を実施し、同時開催のキーワードラリーでは、ここふるショップにキーワードを設置した。期間中は、ここふるショップ内をクリスマス一色にした。

### ここふるメリクリ2022「サンタさんを探そう！」

開催日 令和4年12月17日(土)～12月25日(日)

内容 館内に隠れた足長サンタの人形の数を当てる企画を実施。正解者には景品をプレゼントした。

参加数 295名、SNSフォロー企画76名

### ここふるあけおめ2023「おせちの中身はな～んだ？」

開催日 令和5年1月5日(木)～1月15日(日)

内容 館内で7つのパネルを探し出し、タブレットをかざして浮かび上がるおせちのイラストの料理名を答える企画。正解者には景品をプレゼントした。

参加数 369名、SNSフォロー企画65名

### ここふるバレンタインデー2023「チョコレートBOXを完成させよう！」

開催日 令和5年2月4日(土)～2月14日(火)

内容 館内に隠されたチョコレートのシールを探し出し、台紙に貼って、チョコレートBOXを完



成させる企画を実施。全てのチョコレートを見つけた方には景品をプレゼントした。

参加数 441名、SNSフォロー企画 55名

### ここふるホワイトデー2023「クッキーBOXを完成させよう！」

開催日 令和5年3月4日（土）～3月14日（火）

内容 館内に隠されたクッキーのシールを探し出し、台紙に貼って、クッキーBOXを完成させる企画。全てのクッキーを見つけた方には景品をプレゼントした。

参加数 471名、SNSフォロー企画 82名

### ここふる春のハーブコンサート

開催日 令和5年3月21日（祝・火）

内容 大野城市在住のハーブ奏者 松村 愛氏による、春をテーマとした入場無料のハーブコンサートを実施。演奏会終了後、観客が実際にハーブに触れる楽器体験の時間を設けた。

参加数 110名

### ここふるカタカタレース

開催日 令和5年3月24日（金）・25日（土）

内容 押し車を押して歩ける2歳0カ月までのお子様とその保護者を対象としたレースを実施。参加者には参加賞として景品をプレゼントした。

参加数 56名

## 4-2 つながる事業

当館のキーワードである「歴史」「こども」「にぎわい」を基に、世代を超えた交流の展開のため、多様な主体の参画による運営を目的とした、つながる事業を実施している。一定の要件を満たした個人や団体等から非営利を目的とした公益性の高い事業を募り、市と共働で事業を行うことで、新たなまちのにぎわいや人の交流の創出を図っている。 ※（◎）は昨年度から引き続き実施したもの。

・令和4年度実施イベント総数 16

### 染で楽しむ

期間 令和4年4月5日（火）～4月10日（日）

内容 自然がもつ美の素晴らしさを伝えるため、古来からの染色である藍染や草木染の作品を展示した。同時に、藍染の絞り染のワークショップを実施した。



### 薬草のボタニカルアート展

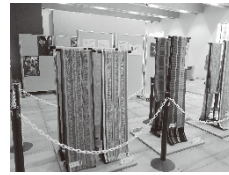
期間 令和4年4月12日（火）～4月24日（日）

内容 約100点の薬草のボタニカルアートを展示した。また、ボタニカルアートの時代背景や薬草に関する講演会を実施した。



## 博多織ハカタオリ展

- 期 間 令和4年6月28日（火）～7月3日（日）  
内 容 博多織でつくられた帯や織物の道具を展示し、  
触ることができる展示物も設置した。また、帯  
留めやくるみボタンを作るワークショップを実  
施した。



## &-ふたつの世界がひとつになって-

- 期 間 令和4年7月5日（火）～7月10日（日）  
内 容 ダンボールや粘土など、違う素材やモチーフを  
取り合わせた作品の展示と販売を行った。また、  
ミニロボット作りのワークショップを開催した。



## 磨呂子の夏休み企画-ぼくにわたしにできること- 笑顔は愛!!地球を笑顔にしたい

- 期 間 令和4年7月20日（水）～7月24日（日）  
内 容 絵本作家 磨呂子氏が描くかわいいイラストの展  
示。また、絵本の読み聞かせと、命の大きさを感  
じられる「自分のハート作り」のワークショップ  
をオンラインで当館と全国のこどもをつないで実施した。



## 水城跡のあかり展 (◎)

- 期 間 令和4年8月2日（火）～8月7日（日）  
内 容 子どもたちが将来まちの宝である水城跡を守り  
伝えていくことを願って紙灯明を設置する「水  
城跡のあかり」を紹介する「水城跡のあかり展」  
を開催した。また、マグネット作りのワークショップを実施した。



## 宇宙の学校® (◎)

- 開催日 全3回〔令和4年10月15日（土）、12月24日（土）、令和5年3月11日（土）〕  
内 容 JAXA 宇宙教育センターとKU-MA が連携し、各地域の主権者の方々と協力しながら行っている社会教育支援プログラム。市内のボランティア団体「スペースドリーム大野城」と共働で、宇宙教育を通じて子ども達に夢をもってもらうことを目的とした科学の学校〔親子で取り組むスクーリング（工作と実験）〕を開催した。



## ほっこり写真展&お写ん歩撮影会

- 期 間 令和4年10月15日（土）～10月23日（日）  
内 容 何気ない日常の笑顔や瞬間・仕草を切り取り、ほっこりするスナッ  
プ写真を撮影する企画を実施した。展示の協力者には、現像した写  
真を無償提供した。



## MOA 美術館福岡児童作品展大野城地域展 (◎)

期 間 令和4年10月25日(火)～11月6日(日)

内 容 作品発表の場を提供し、こどもたちの創作意欲を高め、地域の芸術振興に努めるとともに、絵をきっかけにしたコミュニケーションを創出するために企画された。市内の小学生を対象に絵画を募集し、審査員により入賞作品を決定し展示を行った。



## まちかど美術館

期 間 令和4年11月4日(金)～11月13日(日)

内 容 「50年後のおおのじょう」という題材で、市内小学校の2年生を対象に絵画を集め、展示を行った。また、スタンプラリーと産業展での表彰も実施した。



## おおのじょうこども商店街

期 間 令和4年11月5日(土)～11月6日(日)

内 容 大野城市の将来を担う子どもたちに職業体験を通して、社会の仕組みや仕事の現場を学んでもらうために企画された。大野城市内の小学生を対象にハローワーク体験、勉強会(お金、税金について)、職場体験、銀行・税務署体験を実施した。

## 大野城の宝フォトコンテスト 2022

期 間 令和4年11月15日(火)～11月20日(日)

内 容 大野城市内で撮影された市の魅力が伝わる写真を募集し、1次審査を通過した作品を展示し、来館者による投票が行われた。



## KAMISHIBAI マラソン

期 間 令和4年12月11日(日)

内 容 演じ手を交代しながら紙芝居を1時間連続で切れ目なく演じる紙芝居マラソンを午前、午後で8作品ずつ演じた。子どもも大人も楽しめる長編の作品も取り扱った。



## 大野城の宝フォトコンテスト 2022 入賞作品展示

期 間 令和5年1月17日(火)～1月22日(日)

内 容 応募総数 458 点の中から一般投票で入選した写真を展示。大野城の宝フォトコンテスト 2022 と大文字まつりフォトコンテストの入賞作品を同時に展示した。

### Love (Over the wallー壁を越えてー) (㊟)

期 間 令和5年1月24日(火)～1月29日(日)  
内 容 5名の作家によるチョークアート作品の展示と販売を行った。また、曜日ごとに異なるモチーフを描くチョークアート体験のワークショップを実施した。収益の一部は動物保護支援団体に寄付された。



### コワーキング・リフレッシュスペース「ままいるーむ」(㊟)

開催日 全19回〔令和4年4月14日(木)、4月21日(木)、5月10日(火)、5月24日(火)、6月4日(土)、6月29日(水)、7月6日(水)、7月29日(金)、8月12日(金)、8月23日(火)、9月2日(金)、9月19日(祝・月)、10月4日(火)、10月10日(祝・月)、11月20日(日)、12月20日(火)、令和5年1月15日(日)、2月23日(祝・木)、3月21日(祝・火)〕  
内 容 子育て支援団体「ままいる」による、家庭などで保育をする人達のための育児と仕事の両立支援等を目的としたコワーキングスペースの提供。保育をする人の居場所作りとして定期的に開催しており、ワークショップや講座も実施した。

## 4-3 活用事業

大野城市役所の各部署等によるイベントや展示等を当館と共働で行う活用事業を行っている。

令和4年度に活用事業として当館で実施された展示、イベントは以下のとおり。活用事業による講座学習室の利用については、4-4 施設貸出にて後述する。

### 大野ジョーくんとあそぼ

開催日 全9回〔令和4年4月16日(土)、6月18日(土)、7月16日(土)、8月20日(土)、10月15日(土)、12月17日(土)、令和5年1月21日(土)、2月4日(土)、3月18日(土)〕  
内 容 市のキャラクターである大野ジョーとまどかちゃんとのダンスや記念撮影などのイベント。  
担当課 プロモーション推進課

### 市制50周年記念事業 私ふるさと展

期 間 令和4年11月22日(火)～12月11日(日)  
内 容 昭和47(1972)年に大野町から大野城市となり、市制50周年を迎えたことを記念して、これまでの大野城市の歩みを振り返るとともに未来に向けた展示を実施。  
担当課 経営戦略課

### 令和5年大野城市はたちのつどい

開催日 令和5年1月9日(祝・月)  
内 容 まどかぴあにて開催する大野城市はたちのつどいの保護者席をジョーホールと講座学習室

に設け、式典のライブ配信を行った。通常は館内飲食禁止だが、当日限定でここふるショップのドリンクをふた付きカップにて販売し、ライブ配信会場への持込を可とした。

担当課 こども・若者政策課

### 小学生読書リーダー展示

開催日 令和5年2月7日（火）～2月12日（日）

内 容 小学生読書リーダー養成講座を夏休みに受講した児童たちの学校での活動で制作したPOPなどの作品及び掲示物等を展示した。

担当課 教育振興課

### 大野城市立中学校の新制服候補サンプル展示会

開催日 令和5年3月4日（土）～3月5日（日）、3月11日（土）～3月19日（日）

内 容 市内中学校の制服リニューアルに伴い行われた、新制服のデザインコンペの展示会会場の1つとして、新制服候補のサンプル展示を実施。

担当課 教育支援課

## 4-4 施設貸出

一般利用者向けに講座学習室及び大野城コレクションの有料貸出を行った。また、館の活用促進のため、大野城市の各部署や市立小・中学校の事業を館内で実施する活用事業や様々な団体との共働事業であるつながる事業による利用も行った。

令和4年度 年間実績	講座学習室			大野城コレクション	
	一般貸出	活用事業	つながる事業	一般貸出	活用事業
申込件数	16件	121件	9件	1件	2件
使用料収入	66,490円	—	—	14,700円	—

## 4-5 ここふるショップ

館オリジナルグッズや大野城市特産品・推奨品、市のキャラクターグッズ、被災地（東北地方、熊本県）特産品・名産品、市内福祉団体商品などを販売するミュージアムショップと、軽食や市内の参画団体によるランチを提供するカフェ、ハンドメイド商品の委託販売ができるチャレンジスペースブースを併設している。また、店内にて販売している被災地特産品・名産品の収益を各被災地へ寄付金として送付する被災地支援事業を実施している。

**開店日・時間** 心のふるさと館開館日の10時～18時

**カフェ ランチタイム**：11時半～14時半 オーダーストップ 17時半

4団体にて日替わりランチメニューを提供。令和4年度参画団体は以下のとおり。

カフェヒュッテ、SBYスイミング、マルイチ、オニギリタケシ（順不同）

※オニギリタケシは、期間限定参画



## 限定メニュー

企画展・特別展やイベントと連携した限定メニューを提供している。令和4年度提供の限定メニューは以下のとおり。

イベント	メニュー	金額
特別展 九大のお宝み～つけた！ －「知」のワンダーランドへようこそ－	バタフライピーレモネード	250 円
特別展 よみがえる黄金の宝 宮地嶽古墳出土宝物の世界	古墳ドーナツセット	250 円
	抹茶ラテ	150 円
まどかフェスティバル	アフォガート風サンデー	250 円
クリスマスフェア	パティシエのりんごスティック (クリスマス ver)	350 円 (DS450 円)
	ベリーソーダフロート	250 円
	マシュマロココア	170 円
ここふるあけおめ 2023 おせちの中身はな～んだ？	白玉ぜんざい (ほうじ茶付き)	350 円
バレンタインデー	ポロショコラスティック	300 円 (DS420 円)
ホワイトデー	スノーボールセット	200 円
	キャラメルカフェオレ	170 円

※DS・・・ドリンクセット

## 委託販売

銀座マロニエゲートに店舗をもつ「A. D. NEEL 銀座店」に館オリジナルグッズ及び図録を含む企画展グッズの委託販売を令和4年11月から開始した。

## チャレンジスペースブース

ショップ内に設置しているアクリルボックスに手作り商品や作品を自由にレイアウトして展示・販売活動ができる。手数料として、A規格は売上金の20%、B規格は売上金の25%を設定している。

令和4年度貸出実績	利用人数	出店期間 (全4期)
A (縦 34.4cm×横 29.4cm×奥行 27cm)	49 名	令和4年4月1日(金)～6月30日(木) 令和4年7月1日(金)～9月30日(金)
B (縦 34.4cm×横 59.4cm×奥行 27cm)	48 名	令和4年10月1日(土)～12月27日(火) 令和5年1月5日(木)～3月31日(金)

## 被災地支援事業

被災地からの特産品の仕入により、被災地の事業者を応援するとともに、被災地支援商品の販売収益を寄付金として東日本大震災等の被災地へ寄付する二重の支援活動を行っている。

事業名	説明	期間
被災地応援フェア	被災地応援商品を1,000円(税込)以上購入ごとに東北地方の雑貨や東北地方・熊本県のお菓子が当たる抽選会(くじ引き)を実施。	令和4年 4月5日(火)～ 17日(日)
	被災地応援商品を1,000円(税込)以上購入ごとに岩手県産米をプレゼントした	令和5年 3月7日(火)～ 19日(日)

### 令和4年度寄付金

送金額	内訳		用途
363,718円	東北地方	303,523円	岩手県内児童館の遊具購入、備品購入等
	熊本県	60,195円	熊本城災害復旧支援金

## 4-6 オリジナルグッズ

館オリジナルのミュージアムグッズを製作し、ここふるショップで販売している。

令和4年度に制作したグッズは以下のとおり。

スタンプ (ジョーくん)		スタンプ (人面墨書土器2)	
ネックストラップ ファン (オレンジ・グリーン)		カプセルトイ (市指定文化財)	
レザー IDカードホルダー		カプセルトイ (善一田古墳群)	
バックパック		ポロシャツ	

## 5 他機関との連携・交流

### 5-1 大韓民国国立公州大学校博物館学術文化交流協定

平成30年度実施の第2回特別展「再々発見！古代山城と水城・大野城」での国立公州大学校博物館所有の文化財借用を契機として、両館の学術文化交流の推進を目的とした協定（平成30年10月10日から5年間）を締結。本協定に基づいて、調査研究、収集、保存、展示、活用等に関して、両館の研究者や職員等の交流、情報交換を目的とした「公州大学校博物館連携事業」を令和2年度から実施。令和4年度は、公州大学校博物館連携事業や公州における百済文化遺産についての講座及び令和5年度以降に実施する市民サポーター交流事業についての説明を行った。

#### 大韓民国公州大学校連携事業パネル展

- 会 期 令和5年2月7日（火）～2月26日（日）
- 内 容 公州大学校博物館連携事業の内容、令和3年度実施報告会の紹介、公州大学校博物館の紹介等のパネル掲示及び関連品の展示を行った。
- 展 示 物 パネル12枚、関連品（協定書及び記念品、報告書類、参考資料）6点

#### 関連イベント

##### 百済文化遺産講座

日 時 令和5年2月18日（土） 14時～16時

会 場 講座学習室

内 容 公州大学校博物館連携事業の内容及び百済文化遺産に関する講座、令和5年度市民サポーター交流事業の紹介、ふるサポの会・ここふる友の会の案内。

参加数 33名（一般参加者13名、サポーター20名）

### 5-2 視察等受入

令和4年度に受入した視察は5件。詳細は以下のとおり。

視察日	受入団体	人数
10月18日（火）	群馬県藤岡市議会	10名
11月1日（火）	茨城県牛久市議会	5名
11月25日（金）	大阪府池田市議会	10名
2月17日（金）	大野城市社会教育委員の会	18名
3月28日（火）	沖縄県うるま市議会	7名



### 5-3 九州大学連携協力推進事業

平成31年3月に締結した「国立大学九州大学と大野城市との連携協力に関する協定書」に基づき、共働事業の実施やオープンキャンパスへの参加などを行った。

#### ワークショップ

##### 九大生とあそぼう！ スーパーボール作り&グローバル体験

日 時 令和4年8月20日（土）10時～12時／13時～16時

内 容 ①化学で遊ぼう！「スーパーボール作り」 ②留学生と遊ぼう！「Can you do it!?!」

参加数 269名（①165名、②104名）

#### ここふるサイエンスカフェ

令和3年度から筑紫地区地域連携推進チームとの共働により、九州大学から講師を迎え、科学の面白さ、奥深さ、生活との結びつきについて、誰でも楽しく気軽に学べる講座を実施している。令和4年度は4回実施した。

##### Vol.2 海の気候変動・温暖化と漁業

日 時 令和4年6月24日（金）19時～20時半

講 師 九州大学応用力学研究所 准教授 千手 智晴氏

参加数 61名（会場：39名、オンライン：22名）

##### Vol.3 星のかけらが描く私たちの世界『ミュオグラフィ』

日 時 令和4年8月19日（金）14時～15時半

講 師 九州大学総合理工学研究院 准教授 金 政浩氏

参加数 23名

##### Vol.4 どうなる？どうする？エネルギー・資源 —バイオマスって何？—

日 時 令和4年12月16日（金）19時～20時半

講 師 九州大学先端物質化学研究所 教授 林 潤一郎氏

参加数 21名

##### Vol.5 ナノの世界のものづくり —2.5次元物質とは？—

日 時 令和5年3月3日（金）19時～20時半

講 師 九州大学グローバルイノベーションセンター 主幹教授 吾郷 浩樹氏

参加数 36名

## 6 市民・地域との連携

### 6-1 ふるサポの会

当館は市民をはじめとした多様な主体が参画する運営を基本としているため、その一環として、16歳以上の市民等によるサポーター制度「ふるサポの会」を導入しており、サポーターが展示解説やワークショップ・事業運営・ここふるショップ&カフェの支援を行っている。サポーター活動を行う上で必要な入門研修や特別展・館外ガイドなどに特化したスキルアップ研修を定期的実施するほか、サポーターがそれぞれ有する様々な知識・経験を活かした活躍の場を広げるための環境整備を進めている。

会員数 (令和5年3月31日現在)	サポーターのべ活動回数(年間)
91名	1,451

サポーター研修			
No.	研修内容	実施回数	参加者数
1	入門研修	3	18名
2	スキルアップ研修(特別展「日本遺産」)	3	41名
3	スキルアップ研修(特別展「九大のお宝、み～つけた!」)	2	42名
4	スキルアップ研修(特別展「宮地嶽古墳出土宝物の世界」)	2	42名

### 6-2 ここふる友の会

来館の促しを目的に、心のふるさと館に関する情報提供などを行うここふる友の会を発足している。

会員数：1,974名(令和5年3月31日時点)うち、令和4年度新規入会者数 218名

入会費：200円(年会費なし、有効期限なし)

特典	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員カードの交付(利用や活動に応じてスタンプを貯め、スタンプ数に応じてここふるカフェのドリンク割引券やオリジナルグッズと交換できる)</li> <li>・イベント等の事業情報のメール配信</li> <li>・特別展内覧会の案内</li> <li>・特別展観覧の友の会料金適用</li> <li>・ここふるショップにて1,000円以上の購入で50円引き</li> </ul>

ここふる友の会会員カード

(表)



(裏)



### 6-3 山城楽講

市の史跡案内ボランティアを養成し、イベント等で史跡案内を行っている。これまでの研修修了者は定例会を通じて、定期的に情報共有、自己研鑽に努めている。令和4年5月からは6期生の養成研修を開始し、令和5年3月17日（金）に5名が研修を修了した。

会員数：36名（令和5年3月31日時点）

活動イベント	実施日	内容	活動人数
大野城跡（四王寺山） ウォーキング	10月22日（土）	福岡県立四王寺県民の森主催で大野城跡を3コースに分かれて史跡見学。祈りの地と博多湾を望む絶景コースを案内。	1名
大野城をあるく	10月29日（土）	大野城市の市名の由来となっている大野城跡をめぐるながら解説。	3名
水城をあるく	11月5日（土）	水城ゆめ広場から東門跡まで見どころをめぐるながら解説。	3名
善一田古墳群 石室公開	11月19日（土）	善一田古墳公園の石室公開と解説。	3名
ぐるっと日本遺産を巡る！	3月18日（土）	水城跡、大野城跡、善一田古墳公園、梅頭窯跡の日本遺産をめぐるツアーで解説。	6名
定例会・養成研修等	実施日	内容	活動人数
定例会	年間9回	山城楽講生による自主運営、活動内容協議および自主研究発表、座学による研修等	215名
現地研修会	11月16日（水）	糸島市立歴史博物館の秋季特別展見学とガイドボランティア団体と意見交換等	21名
6期生研修	5月20日（金）	開講式と講話「大野城跡について」	10名
	6月17日（金）	大野城跡での実地研修（増長天礎石群、鏡池、太宰府口城門、尾花礎石群）	8名
	8月19日（金）	講話「水城跡について」	7名
	9月16日（金）	水城跡での実地研修（ゆめ広場、推定望楼跡、	9名
	9月30日（金）	土塁取付部、西門跡、木樋跡）	9名
	10月14日（金）	大野城跡での実地訓練（増長天礎石群、鏡池、太宰府口城門、尾花礎石群）	8名
	11月11日（金）	小水城跡での実地研修（大土居小水城跡、天神山小水城跡、上大利小水城跡）	7名
	12月16日（金）	水城東門跡での実地研修 ※大宰府史跡解説員ガイドボランティアに解説依頼。	7名
	1月20日（金）	講話「善一田古墳群の概要」	8名
	2月17日（金）	善一田古墳公園での実地研修	9名
	3月17日（金）	修了式、認定書授与式	14名

## 6-4 史跡環境整備サポーター事業

安全安心かつ快適な史跡環境を目指すとともに、史跡に愛着を持ってもらうため、平成28年度から住民参加型の史跡管理事業を行っている。対象地は、水城跡、牛頸須恵器窯跡とし、大野城市緑化推進協議会の協力を得ながら、年間を通して定期的に小径木や竹の伐採、下草刈りを実施した。

対象史跡	実施日	活動人数	対象史跡	実施日	活動人数
牛頸須恵器窯跡	4月16日(土)	18名	水城跡	4月23日(土)	20名
	6月9日(木)	13名		5月24日(火)	16名
	9月8日(木)	9名		6月28日(火)	20名
	10月13日(木)	11名		10月25日(火)	15名
	11月10日(木)	9名		11月22日(火)	16名
	12月8日(木)	9名		12月27日(火)	10名
	2月9日(木)	8名		2月28日(火)	13名
	3月9日(木)	10名		3月28日(火)	10名
全8回 総活動人数 のべ87名			全8回 総活動人数 のべ120名		

※牛頸須恵器窯跡の5月・1月、水城跡の9月・1月は悪天候のため中止。

## 7 情報発信・広報

### 7-1 情報発信・広報ツールの活用

公式ウェブサイト

URL <http://www.onojo-occm.jp/>

SNS

フォロワー数 (令和5年3月31日時点)	LINE	Instagram	Twitter	Facebook
	1,011	1,221	1,000	570

### 7-2 発行物

#### 機関紙「ここふるニュース」

年間3回発行。市広報紙に折込み配布を行った。

発行日	版	主な内容	発行部数	広報折込部数
7月15日	vol.13	特別展「九大のお宝、み〜つけた！ 「知」のワンダーランドへようこそ」	48,000部	46,800部
10月15日	vol.14	特別展「よみがえる黄金の宝 国宝宮地嶽古墳出土宝物の世界」	48,000部	46,800部
3月15日	vol.15	特別展「白木原ベース サイドストーリー ～街のなかのアメリカ文化、そしてPOP吉村伝説の誕生～」	48,000部	46,800部

#### おうちミュージアム

新型コロナウイルスの影響で休館になっても「学校がはじまるまでのあいだ、おうちでミュージアムをたのしもう」という趣旨で北海道博物館がはじめた「おうちミュージアム」に当館も賛同。おうちでも「学べる」「遊べる」コンテンツを公式ウェブサイトで提供。（総コンテンツ数18件）

令和4年度提供は以下のとおり。

コンテンツ	内容
ここふるぬりえにチャレンジ！	大野城市PRキャラクター大野ジョーなどのぬりえを提供。
福笑いにチャレンジ！	大野城市イメージキャラクターまどかちゃんの福笑いを提供。
てるてる坊主をつくろう！	梅雨の時期に向けて、てるてる坊主をテーマにした飾りの工作を提供。
クリスマスツリーを飾りつけよう！	クリスマスに向けて、クリスマスツリーをテーマにした飾りの工作を提供。

## ここふる学校

当館のスタッフがそれぞれの知識・経験を活かして様々な授業を公式ウェブサイト上で発信している。  
令和4年度の公開は以下のとおり。

媒体	内容
動画	大野城心のふるさと館の映えスポット！ 第3回 なつかしい昭和時代にタイムスリップ
テキスト	郷土の誇る偉名～目加田 誠氏・目加田 さくを氏～ 第12回 目加田 誠先生と中国文学 2—『聊齋志異』 2— 第13回 目加田 誠先生と中国文学 3—『聊齋志異』 3—

## 大野城市の文化財

発行日	題名	発行部数
1月31日	『発掘された大野城市の遺跡』 大野城市の文化財第53集	1,000部

## 8 資料収集・調査・貸出

### 8-1 資料の収集

令和4年度の寄贈資料は1件。詳細は以下のとおり。

資料名	内容	点数	寄贈者
竹田家所蔵文書	福岡藩に儒学者として仕えた竹田家に伝えられた古文書・書跡類。一部は福岡県有形文化財「竹田家所蔵文書」に指定されている。県指定文化財の詳細は以下。 軸物8巻（「貝原益軒先生筆跡」他） 『筑前国続風土記』全31巻（校訂本、紙本墨書） 『黒田家譜』全16冊（紙本墨書） 『黒田続家譜』全6冊（紙本墨書）	4,060点	個人

### 8-2 資料の調査

令和4年度の資料調査の受け入れは3件。詳細は以下のとおり。

受入日	対象資料	依頼者
6月14日	瑞穂遺跡7・8次出土十字架	1名
6月23・24日	薬師の森遺跡出土陶磁器	1名
2月9日	善一田遺跡・牛頸塚原遺跡・牛頸中通古墳群・牛頸後田古墳群出土玉類	1名

### 8-3 資料の貸出

令和4年度に行った出土遺物貸出は1件。詳細は以下のとおり。

#### 出土遺物

資料名	点数	貸出先	使用目的
瑞穂遺跡出土十字架・数珠玉	4点	西南大学博物館	特別展出展

令和4年度に行った画像資料貸出は10件。詳細は以下のとおり。

#### 画像資料

資料名	点数	貸出先	使用目的
大野城跡・水城跡（空撮）	1点	(株)はる制作室	宝島社 TJM00K『新発見でここまでわかった！日本の古代史』（令和4年5月12日発行）への掲載

資料名	点数	貸出先	使用目的
牛頸須恵器窯跡 イラスト	1点	(株)TBS スパークル	BS-TBS「関口宏の一番新しい古代史」内のVTRで使用
大野城跡・水城跡(空撮)	1点		
大野城跡・水城跡(空撮)	1点	(株)ベネッセ コーポレーション	(株)ベネッセコーポレーション 発行の教材への掲載
白木原ベース通り(モノクロ)	1点	大野城市民劇団 迷子座	大野城市民劇団迷子座定期公演チラシ及びパンフレットに 使用
白木原ベース通り(カラー)	1点		
小田浦50-I号窯跡全景	1点	春日市教育委員会 文化財課	令和4年考古企画展での使用
へら書き須恵器	1点		
水城跡(空撮)	1点	(株)ベネッセ コーポレーション	(株)ベネッセコーポレーション 発行の教材への掲載
【IPM作業状況】 大池(2F)-棚埃払い 大池(2F)-全体写真 大池(2F)-作業後全体 クリーニング 脱穀機	1点 1点 1点 1点	(株)タクト	会社事業案内パンフレット掲載
大野城跡・水城跡(空撮)	1点		
瑞穂遺跡写真データ	4点		
十字架(瑞穂遺跡7・8次調査SX21出土)	1点		
数珠(瑞穂遺跡7・8次調査SX21出土)	3点	(株)ワイズアップ	駐福岡大韓民国総領事館の1階中央玄関に設置のパネルに 掲載
瑞穂遺跡写真データ	4点	(株)ジャパン通信 情報センター	「文化財発掘出土情報」2022年11月号「各地の動向」掲載
十字架(瑞穂遺跡7・8次調査SX21出土)	1点	西南学院大学 博物館	2022年度特別展図録、広告物 (ポスター・チラシ)への掲載
数珠(瑞穂遺跡7・8次調査SX21出土)	3点		

令和4年度に行った資料の特別利用許可(資料熟覧・撮影)は3件。詳細は以下のとおり。

#### 目加田家寄贈資料

資料名	点数	利用者	使用目的
目加田誠博士書斎対聯	1式	個人	研究のため
北平日記	1式		
周作人書軸	1点		
支那旅行日誌	3冊		
福岡女子大学文学部国文学科第三回卒業アルバムの寮関係写真	4点	福岡女子大学百年史編纂室	企画展展示



## 9 文化財調査・整備

### 9-1 文化財の調査

令和4年度の発掘調査は6地点で実施。詳細は以下のとおり。

調査名	所在地	期間	調査面積	調査成果等
瑞穂遺跡 第11次調査	瑞穂町 2丁目	4月6日 ～7月15日	185 m <sup>2</sup>	弥生時代の甕棺墓25基・木棺墓1基・土坑墓1基を確認した。隣接する瑞穂公園においても多数の弥生墳墓を確認しており、大野城市を代表する弥生時代の墓地と位置付けられる。
国分田遺跡 第4次調査	瓦田2 丁目	4月7日 ～7月27日	280 m <sup>2</sup>	井戸1基・溝2条と複数のピットを確認し、土師器・瓦器などが出土した。溝は区画溝の可能性が高く、平安時代後期の集落の一部にあたりと考えられる。
後原遺跡 第26次調査	白木原 1丁目	8月16日 ～11月25日	3,013 m <sup>2</sup>	溝及びピットを確認したが、遺構密度は非常に低い。近世白木原村縁辺部にあたりと考えられる。
宝松遺跡 第5次調査	山田 4丁目	1月10日 ～2月27日	300 m <sup>2</sup>	中世及び近代の溝・土坑・ピットを確認し、土師器・陶磁器が出土した。中世山田村の広がりを知るうえで新たな知見を得た。
小田浦窯跡群 I地区 確認調査	牛頸 1丁目	6月9日 ～10月5日	約100 m <sup>2</sup>	7世紀初頭頃の須恵器窯跡の1基を調査し操業当初の規模や構造を明らかにした。また、灰原の範囲を確認した。
水城跡 第67次調査	下大利 3丁目	11月15日 ～3月20日	約200 m <sup>2</sup>	木樋推定部を調査し、木樋を据えるための掘方と木樋抜き取り痕を確認した。木樋の抜き取り時期の解明が課題。

令和4年度の文化財調査報告書は9冊を刊行。詳細は以下のとおり。

題名	
第202集 仲島遺跡14	第207集 雑餉隈遺跡3
第203集 御供田遺跡6	第208集 御笠の森遺跡9
第204集 森園遺跡6	第209集 国分田遺跡1・畑ヶ坂遺跡2
第205集 上園遺跡11	第210集 石坂窯跡群3
第206集 平野遺跡1	

令和4年度のその他調査・照会等

試掘調査	埋蔵文化財照会	遺物保存処理
59件	1,308件	善一田遺跡第4次調査出土金属製品 12点

## 9-2 文化財の整備

令和4年度に行った史跡整備関連事業は以下のとおり。

事業	内容
水城跡保存整備事業	水城跡西門エリアにおいて土塁上の樹木の伐採、剪定を実施。

## 10 施設管理

### 10-1 I P M管理

心のふるさと館では館内のI P M管理について以下のとおり実施した。

令和4年度取組	内容
温湿度管理	データロガーの設置による展示ケース等の温湿度情報の継続計測
特別収蔵庫及び展示ケース内の環境管理	定期的な温湿度計測及び害虫調査、パッシブインジケーターを使用したケース内の有機酸及びアンモニアの濃度計測、収蔵庫の定期的な清掃、特別展開催後の展示ケースの清掃。
燻蒸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用薬剤：エキヒュームS</li> <li>寄贈資料：令和4年9月13日（火）、9月17日（土）～9月20日（火）</li> <li>※台風直撃のためガス開放日を一日延期</li> <li>・使用薬剤：炭酸ガス「えきたんくん」</li> <li>特別展資料：令和5年1月26日（木）、2月6日（月）～2月21日（火）</li> </ul>
保存環境調査	令和4年度秋季特別展に向けた国指定文化財の借用公開に係る保存環境調査を実施。
害虫トラップ調査等	館内71か所（10月以降72か所）に害虫トラップを設置、毎月1回計測。その他、侵入した害虫等を捕獲・記録し、必要に応じて対応。
その他	職員及び展示業務に従事する委託者の室内履きの徹底、収蔵庫専用履物の設置、防塵マット・ドアブラシの設置、生花・動物・虫等の持ち込み制限（生花のみ、やむを得ない場合は袋等で包む対応）、2階及び3階の展示エリアでの飲食禁止等の徹底、収蔵エリア等の定期的な清掃を実施。

### 10-2 危機管理

自衛消防隊として非常時に迅速な初動と的確な活動を行うため、職員による火災を想定した総合避難訓練を実施。

実施日：令和5年2月20日（月）

訓練内容	
講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自衛消防隊の編成と任務について</li> <li>・電気火災について</li> </ul>
消防設備の確認 （3階～1階）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消火設備の位置確認及び誤動作とその解除方法</li> <li>・防火戸・防火シャッターの操作方法</li> <li>・避難経路の確認</li> </ul>
複合火災受信設備・非常放送設備の操作方法 （1階・事務室）	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 複合火災受信設備の操作</li> <li>② 非常放送設備の操作 <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防署への通報、館内アナウンス</li> <li>・作動中の消火設備の確認</li> <li>・誤作動による異常なしの場合の解除方法と館内アナウンス</li> </ul> </li> </ul>

# 11 統計

## 11-1 施設利用状況

(1) 令和4年度月別入館者数等

月	入館者		ふるさとラボ	クライミング		企画展・特別展	
	開館日数	入館者数	入場者数	開催日数	利用者数	開催日数	入場者数
4月	26	4,269	821	14	207	2	97
5月	27	11,519	770	15	247	26	1,076
6月	25	4,930	493	11	236	18	1,415
7月	27	7,085	2,001	15	343	14	1,532
8月	26	7,845	4,047	21	429	26	2,906
9月	23	11,197	757	11	206	4	560
10月	26	6,109	1,232	14	234	8	574
11月	26	9,217	921	13	233	26	1,533
12月	23	5,507	1,031	11	115	16	699
1月	23	5,288	1,150	14	270	16	1,353
2月	24	6,074	2,035	12	272	24	2,550
3月	27	6,739	1,327	12	290	21	2,028
合計	303	85,779	16,585	163	3,082	200	16,323

(2) 累計入館者数等

年度	来館者数		ふるさと ラボ	クライミング		企画展・特別展	
	開館日数	来館者数	入場者数	開催日数	利用者数	開催日数	入場者数
平成30年度	210	73,642	6,829	84	1,322	160	8,762
平成31年度	276	98,980	12,130	102	1,906	168	19,870
令和2年度	264	43,794	4,864	104	1,711	98	9,080
令和3年度	239	43,314	7,676	118	1,495	123	5,451
令和4年度	303	85,779	16,585	163	3,082	200	16,323
合計	1,292	345,509	48,084	571	9,516	749	59,486

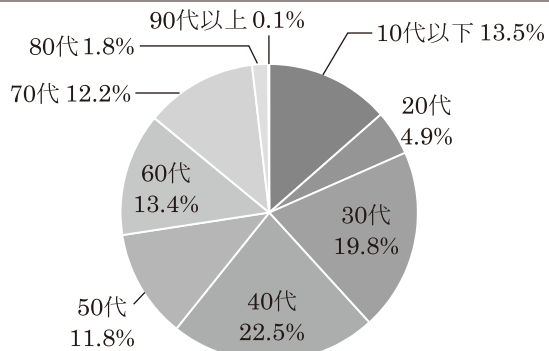
※平成30年度は7月開館以降の数値。ふるさとラボ入場者数は平成30年8月以降の数値。

## 11-2 来館者アンケート

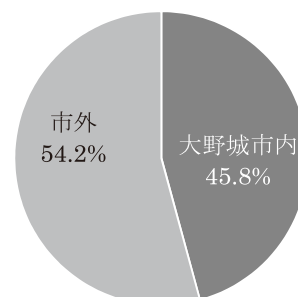
令和4年度アンケート結果は以下のとおり（未回答除く）。

回収件数：2,169件

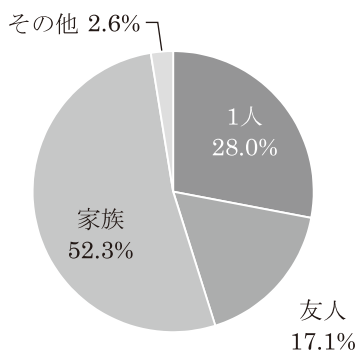
年齢



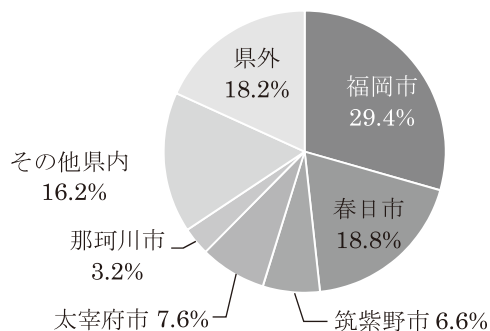
どこから来られましたか



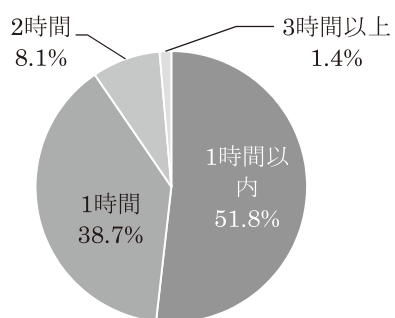
誰と来られましたか



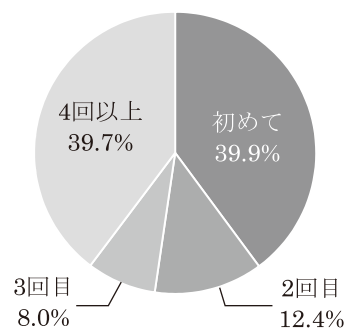
市外の内訳



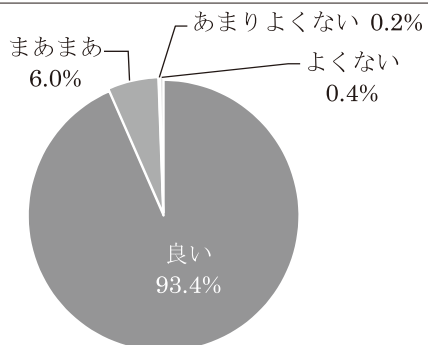
館内利用時間



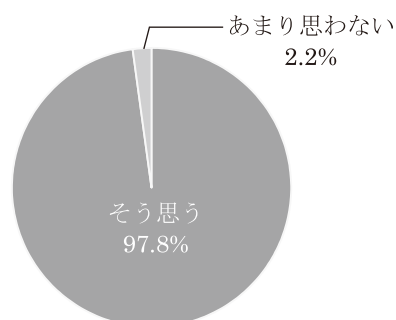
来館回数



スタッフの対応



また来館したいか



大野城心のふるさと館年報 2022

令和5年11月15日発行

編集・発行 大野城心のふるさと館

〒816-0934 福岡県大野城市曙町3丁目8番3号

TEL : 092-558-5000 FAX : 092-558-2207

<https://www.onojo-occm.jp/>



—歴史と、まちと、人と、想いと—  
「つなぐ、つながる。」

市民ミュージアム



**大野城心のふるさと館**

Onojo Cocoro-no-furusato-kan City Museum

ANNUAL REPORT  
OF  
Onojo Cocoro-no-furusato-kan City Museum  
2022